

【何故、日銀と政府は目標としている物価上昇 2%すら達成できないのか？ 国際銀行家を作り出してきた主流経済学のマインドコントロールの結果】

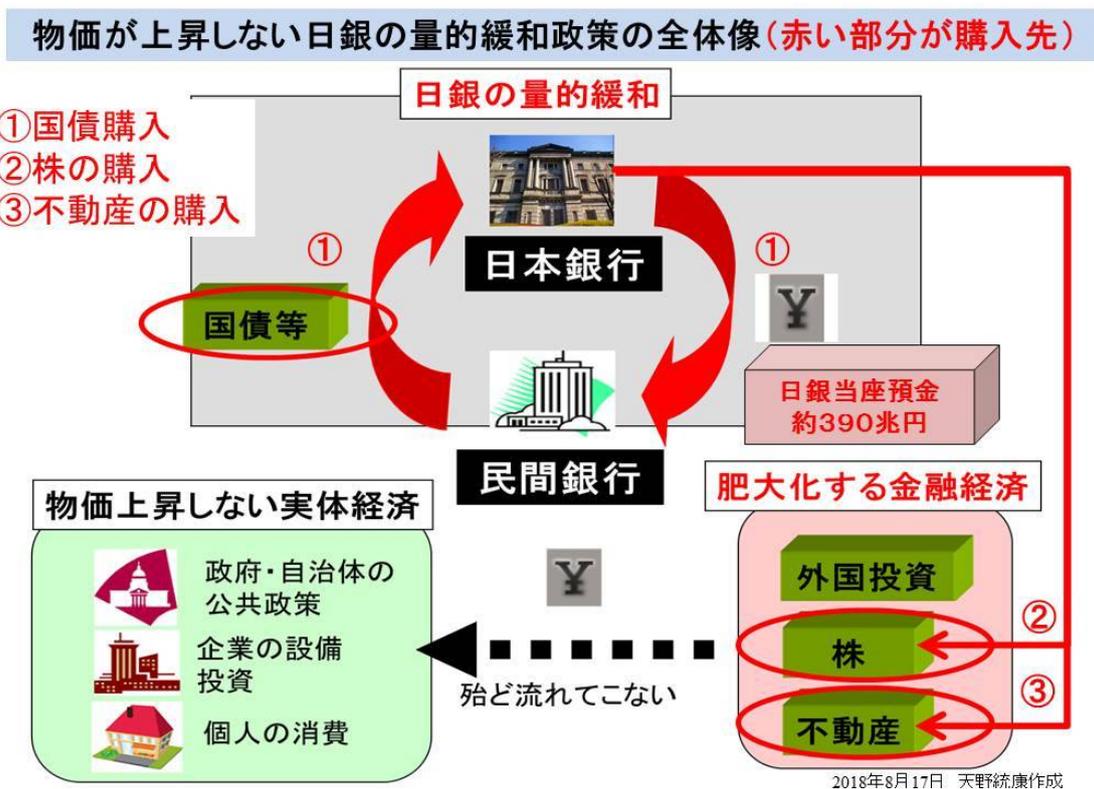
前回は超低速ながら安倍政権が戦後二番目の景気拡大期間を達成している理由をお伝えした。

それは市中銀行（中央銀行以外の銀行）の貸し出しの増加による信用創造量の増加（信用創造とは銀行が無からお金を作り出すこと）による影響が大きい。

今回は黒田日銀総裁が 2013 年 4 月に量的緩和を始めてから 350 兆円も新しく資金を供給し信用創造を行ったのに、なぜ目標としている物価上昇率 2%の達成が出来ないのか？についてお伝えする。

その答えは実は簡単で、350 兆円の信用創造は、金融経済向けに行っているだけだからだ。

現在、日銀は以下のような量的緩和政策によって信用創造を行っている。



- 図の① 銀行から国債を年 80 兆円購入
- 図の② E T F（株式投資信託）を年 6 兆円購入
- 図の③ R E I T（不動産投資信託）を年 900 億円購入

日銀が商品を購入すると、無から資金が作られる仕組みになっている。

つまり年 86 兆 900 億円を信用創造しているわけだ。

しかし、それらは国債、株、不動産の購入であり、金融経済向けの信用創造である。

そのため、物価の集計される実体経済の商品の価格にはほとんど影響を与えておらず上昇しない。

驚くべきことにこの単純な事実を主流の経済学は理論的に公式化できていない。

なぜなら、信用創造の仕組みと影響力を経済現象と結びついて理論化してこなかったからだ。

だから主流経済学の総本山である日銀が総力を挙げて金融政策を行ってきても、主流経済学の大家である学者たちが主流経済学の理論に基づいて考えても、なぜ、5年間で 350 兆円も資金を創りだしながら物価が 2%も上昇しないのかを理論化できないのだ。

嘘のようなホントの話だが、欧米の主流経済学は信用創造の影響を組み込まない経済理論を 3 世紀にわたって創りだしてきた。

信用創造の影響力から目を逸らさせ続ける主流経済学を創りだしてきたのが中央銀行を掌握してきた国際銀行家の組織である。

信用創造に基づいた経済理論は 2003 年に出版されたリチャード・ヴェルナー氏の 2 冊の書籍

『謎解き平成大不況 誰も語らなかった危機の本質』PHP 研究所

『虚構の終演 マクロ経済「新パラダイム」の幕開け』PHP 研究所

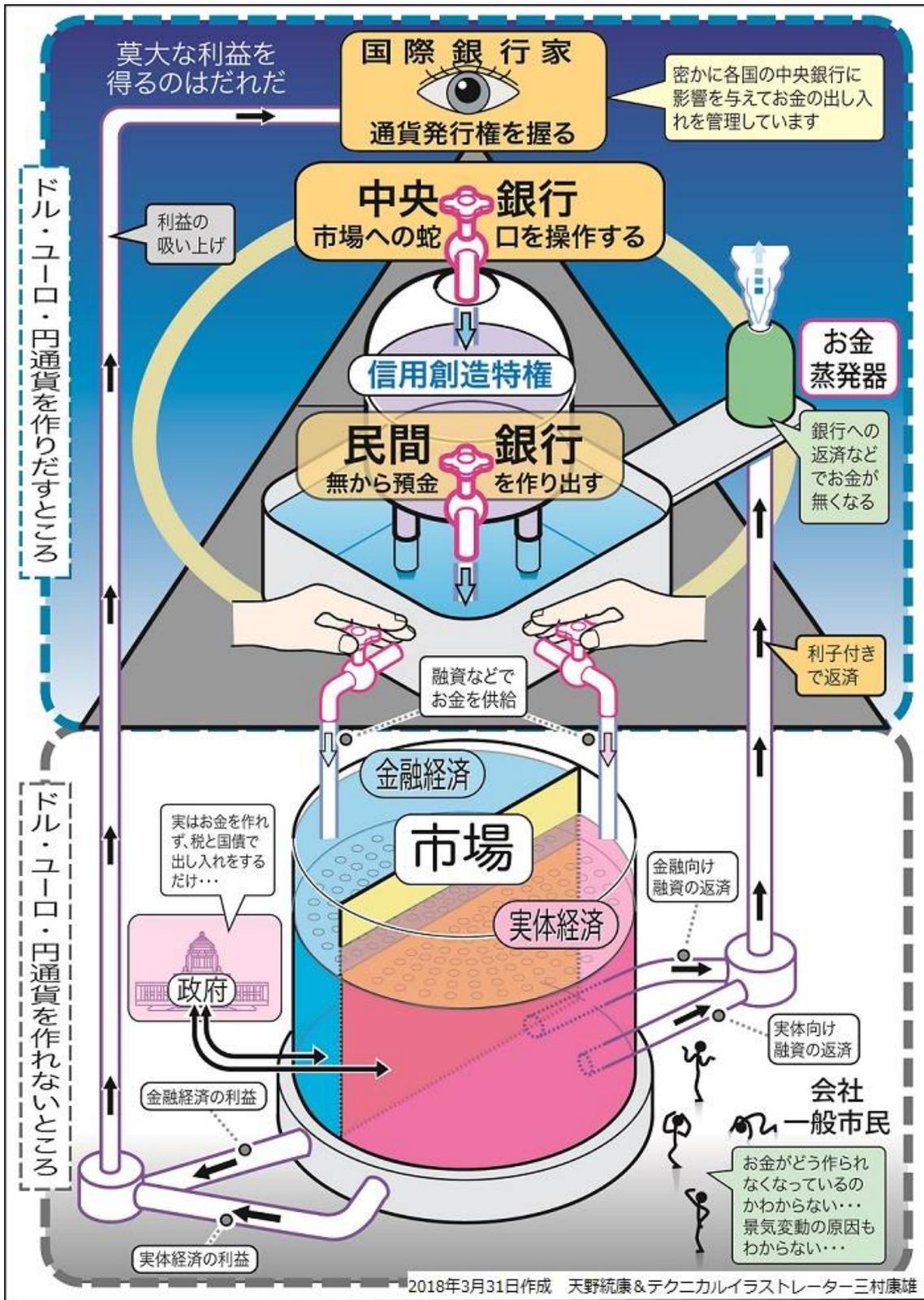
によって明らかにされた。

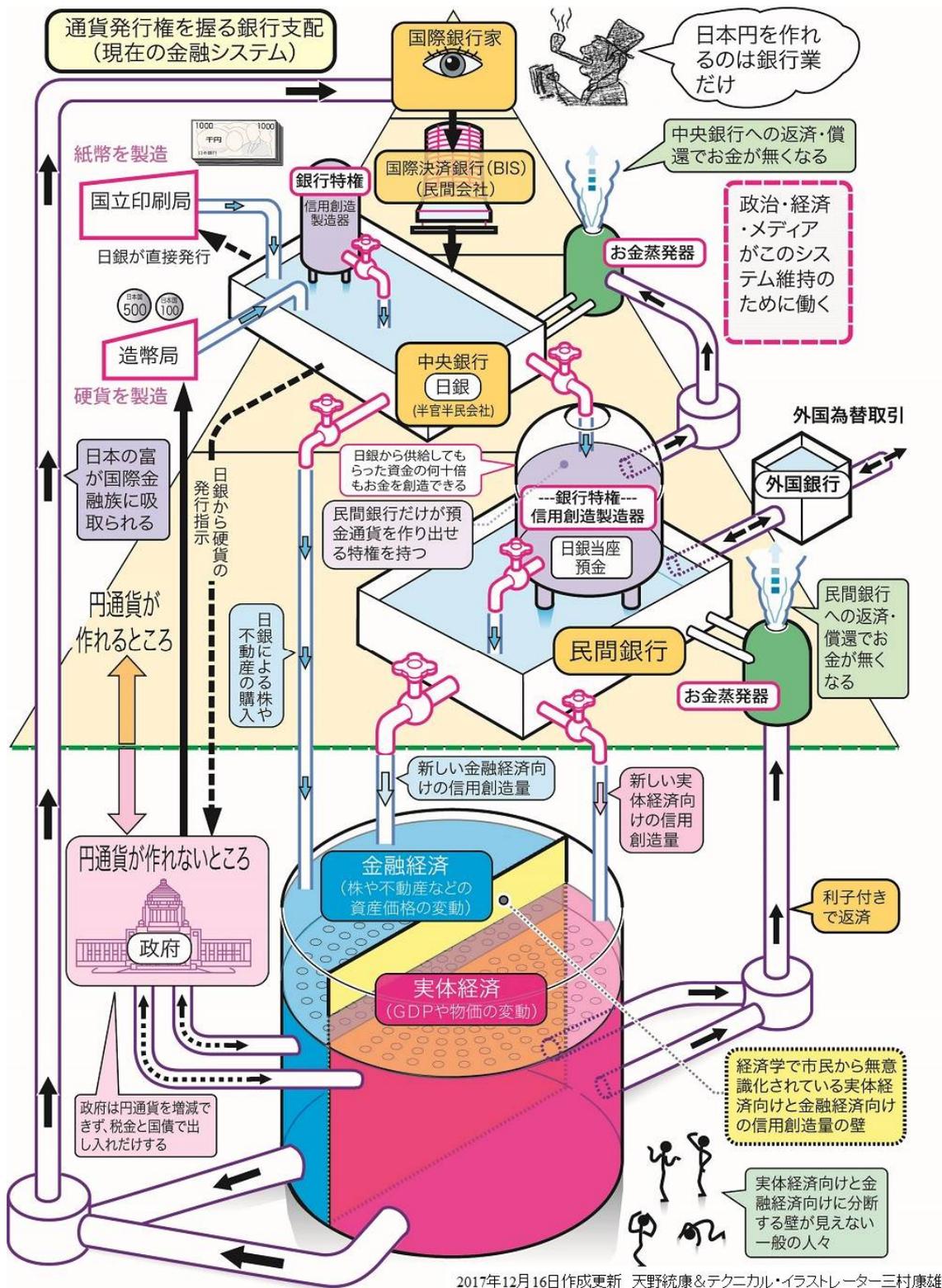
それまで人類は信用創造に基づいた経済理論を創ってこなかった。

つまり資本主義の仕組みについて理解してこなかった。

ヴェルナー氏によってはじめて国際銀行家が秘密にしてきた経済学の密教はあきらかにされたのである。

その理論と資本主義のシステムについて、以下の図と動画を作成したので参考にしてください。





◆ 1部～5部までの「通貨発行権を握る銀行支配 (現在の金融システム)」の動画はこちら
↓

1 部→国際銀行家に管理される通貨システムの全体像

<https://youtu.be/aJB4tswlOB0>

2 部→民間銀行がお金を作る仕組み（信用創造） 2018年3月3日

<https://youtu.be/aPjq9tvq7w8>

3 部→市場を二つに分けて考える（実体経済/金融経済） 2018年3月23日

<https://youtu.be/-liFClcMMq4>

4 部→隠されてきた信用創造が分かれば真の経済法則が分かる 2018年5月21日

<https://youtu.be/CVkkRfgu6fQ>

5 部→インフレやデフレ、金融資産の上下の真の原因が一目で分かる！ 真の民主社会を創
る会 2018年6月10日

<https://youtu.be/U42n1HRSwho>